

登録コード	MA780601	開講年度	2026				
授業科目名	作業療法学特別研究					担当教員	上村 智子
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Occupational Therapy					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻 / 学年	作業療法学領域 / 2 年次
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	必修科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					心身機能が低下した高齢者の在宅生活継続支援に特化した作業療法の領域での研究課題を取り上げ、研究を実施し、論文にして発表することができる	
(2)授業の概要	心身機能が低下した高齢者の在宅生活継続支援に特化した作業療法の領域において、学生の主体的発想を重視した研究課題を練り上げ、研究計画を指導教員の指導の下に立案・実施し、一連の成果を論文にして、発表する。						
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	心身機能が低下した高齢者の在宅生活継続支援に特化した作業療法に関連する研究課題を設定し、研究計画を立案・実施する。 また、得られたデータの分析結果に基づき研究成果を論文として仕上げていく。 この一連の過程を通して、研究者としての研究能力を身につける。						
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	・研究課題および研究目的を設定できる。 ・研究課題におけるこれまでの国内外の研究の動向について説明できる。 ・研究課題を達成するための研究デザインを適切に選択し、研究方法の信憑性や妥当性について検討した上で研究計画書が作成できる。 また、研究を進めるために必要な倫理的配慮ができる。 ・研究計画に基づいた、データ収集ができる。 ・得られたデータを適切に分析することができる。 ・結果に基づき、科学的論文として仕上げるができる。 ・実施した研究課題を解りやすく、かつ論理的に発表することができる。						
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する．研究の進捗により所要時間は異なるが．項目ごとに複数回の指導時間に加え，相当程度の事前事後の自主学習時間を要する． 1．研究課題の選択と文献講読 2．研究計画書と倫理審査申請書の作成 3．研究の実施 4．論文の作成と発表						
(6)授業の進め方	個別およびグループでの研究ミーティングを通して，一連の研究活動を進めます。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	指導教員と綿密な連絡やコミュニケーションをとり，他の大学院生や研究生と協力しながら学習を進めてください						
(8)成績評価の方法	修士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価し，60点以上を合格とします．						
(9)成績評価の基準	下記の評価項目の合計点に基づき，判定基準は，90-100点（秀），80-89点（優），70-79点（良），60-69点（可），60点未満（不可）とします． 1.研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し，明確に説明できている（35点） 2.研究内容について提起されている質問に対して，論理的に説明できている（25点） 3.研究の将来展望について論述できている（20点） 4.当該研究分野に関する基本的知識を有している（20点）						
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	臨床における疑問に対して，科学的かつ論理的妥当性のある研究活動を展開できるよう，主体的に学習してください。 質問・相談は，メールをお願いします。 オフィスアワー 木曜日12時～13時 中校舎4階 上村研究室（事前にメールでご連絡ください）tkamimu@shinshu-u.ac.jp						
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介します。						